

私は中村先生の下で中学3年生の夏から高校卒業までは生徒として、そして、大学時代は同じ先生としてお世話になっていました。中村先生について生徒目線と先生目線から書いていきたいと思います。

まず、私は中学時代は内申点が26とかなり悪いと言うわけではないですが、良いというわけでもない点数でした。順位も約280人中150位くらいと微妙な順位でした。しかし、中村先生の下で勉強すると、順位も100位台まで上昇しました。入塾した時期が中学3年生の夏休みということもあり、内申点自体はあまり変わりませんでした。学力は圧倒的に上がったと感じられました。そして、第一志望の高校であった春日井南高校へと入学しました。

高校時代は主に、英語の勉強をみてもらっていました。高校2年生の真ん中頃から志望する大学を決め、合格に向けて、指導してもらいました。中村先生も普段から勉強を継続しており、高校の内容であってもとても頼りになる先生でした。また、赤本やセンター試験（当時）の過去問も準備してくださり、勉強環境を作ることに力を入れていると感じていました。そして、大学は志望していた南山大学法学部と愛知大学法学部に合格しました。さらに、私は愛知大学はスカラシップという特待生のようなもので合格でき、愛知大学へ進学しました。

大学に進学後は、同じ先生としてお世話になっていました。当たり前のことではありますが、生徒目線と先生目線では中村先生の見方はかなり変わります。生徒としてお世話になっていた頃は勉強についてみることはもちろんのことですが、そのことしか見ていませんでした。しかし、同じ先生として働いていると、授業で使う教材も厳選しており、また、先生が不足している、もっと詳しく説明するとしている部分については先生がプリントを作っていました。

授業についても、学校によって変えていました。小学生に対しては、ヒント等をあまり与えず、自ら考えて答えを導き出せるようにし、中学生には、授業、テスト、復習を繰り返し確実に身につくようにしていました。また、高校生には、基本的には自習、入試に関して重要な部分（英単語や古文単語等）については確認テストを行っており、習熟度が上がっていくにつれ、難易度を上げてより高いレベルの勉強を行っていました。

そんな、生徒一人一人を考えている中村先生ですが、もちろん厳しい所もあります。宿題の期限や、授業の開始時間など特に時間について厳しかったように思います。これは、生徒が今後社会に出ていくときのためでもあると思います。時間について厳しかったこともあり、期限を守れなかった生徒は学校の宿題についても提出期限までに出せるように成長し、学力、内申点も上がり一石三鳥の結果となっています。つまり、中村先生の下で勉強のことだけでなく、人としても成長できると思っています。これを書いている私自身もその1人です。

私はこの恵まれた環境で現在は国家公務員として社会に出ていますが、中村先生に出会わなければ今のような良い人生は歩めなかったと思います。勉強できるようになり、また人間としてより良く成長できる良い環境だと私は思っています。

ぜひ、中村先生の下で学力も上げ、人間としても成長してみませんか？